

純粹な天然温泉

福江島の岩がちな海岸部には、地域で唯一の自噴泉があります。今日、島には複数の温泉がありますが、その多くは掘削により人為的に作られたものです。完全に天然なのが荒川温泉です。

非火山性でも熱いとは

地質的に見て荒川温泉が興味深いのは、島にある温泉なのにも関わらず、非火山性であるという点です。本来、島の温泉は火山性な場合が多いのです。非火山性温泉では、地中に染み込んだ雨水が熱せられ、地下ガスの圧力によって地表に戻されます。

荒川温泉は「グリーンタフ型（緑色凝灰岩型）の温泉」であるという興味深い特徴も備えており、緑色を帯びた岩の層を泉源としています。この層は、噴火後に堆積した火山灰が、時間をかけて岩に圧縮されたものです。緑色凝灰岩は日本海沿岸全域に分布しており、約 2,000 万年前、ユーラシア大陸と今の日本海に相当する場所との間に存在した、広大な低地の底で形成されました。低地ではしばしば噴火が発生し、火山灰として噴出された物質は、やがて緑色凝灰岩になりました。

最近の発見

島でグリーンタフ型の温泉を見かけることは珍しく、荒川温泉への興味がさらに高まります。最初に発見されたのは比較的最近のことで、1856 年に付近で温泉の噴出が確認されました。しかし、現在の温泉が見つかったのはそれより後の 1913 年のことで、発見者は 12 歳の少年でした。それ以来、地域の開発が進み、地元を訪れる観光客への観光名所になりました。温泉の熱は温室を暖める目的にも使われています。

温泉施設は毎日営業しており、わずかな料金で利用できます。五島列島を訪れた際にはぜひ立ち寄って、ゆっくり身も心も癒してってください。